施工手順

1 下地

①下地は各鋼製メーカーの仕様に従ってください。

②野縁Mバーの間隔は227.5mmとしてください。

【専 用 ビ ス 】

タイカー スクエアビス



〈ボード1枚あたりの使用本数〉

1.5'× 3'版タイプ21本、3'× 3'版タイプ35本

〈仕様〉

サイズ:φ3.0×20、カラー : グレー、荷姿:1000本／箱

※光が直接当たっても反射しない特殊な化粧ビス頭となっています。

2 ボードの張り付け

①ボードは、電動スクリュードライバー（推奨回転数6000回転）を用いて専用ビスにて野縁Mバーに留付けてください。

②ビス打ち目印位置にビス留めしてください。

（留付け間隔は137mmとなり営繕の工事共通仕様書の150mm以内のピッチを満足します。）

3 ボードの割付

○ボードの割付は、イモ目地（通し目地）を推奨します。正方形模様の配列が直線的に配置されるようになります。

※ウマ目地（レンガ張り）は、施工可能ですが正方形模様の配列が直線状に揃わなくなります。下図参照

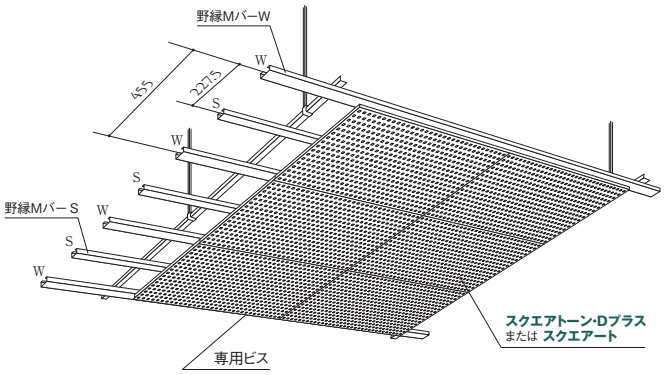
4 照明器具や壁との取合部について

照明器具や壁とボードが取合う部分でボードの残り寸法が250mm未満となる場合は、**スクエアート**を用いて施工してください。**スクエアトーン･Dプラス**は貫通した孔があるため250mm未満に切断すると、強度低下しますので使用しないでください。

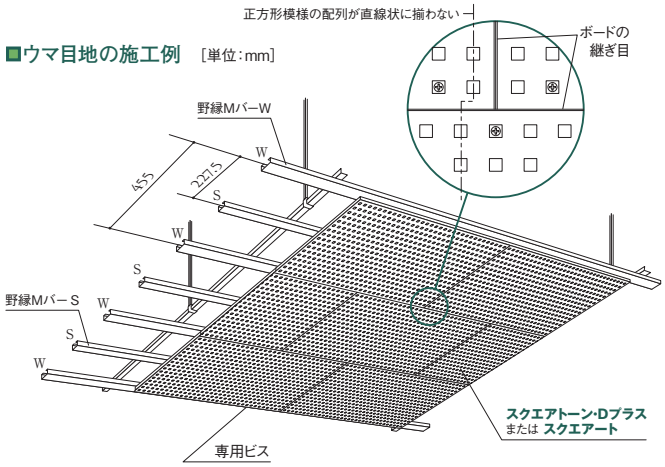
なお、**スクエアート**のかわりに当社製品ジプトーン･ライトまたは、ステラート･ライトを使用しデザインすることも可能です。[天井伏図(B)を参照]

※ステラート･ライトにはホルムアルデヒド吸収分解性能を付加しています。

■イモ目地の施工例（推奨） ［単位：mm］



■ウマ目地の施工例 ［単位：mm］



天井施工の割付例

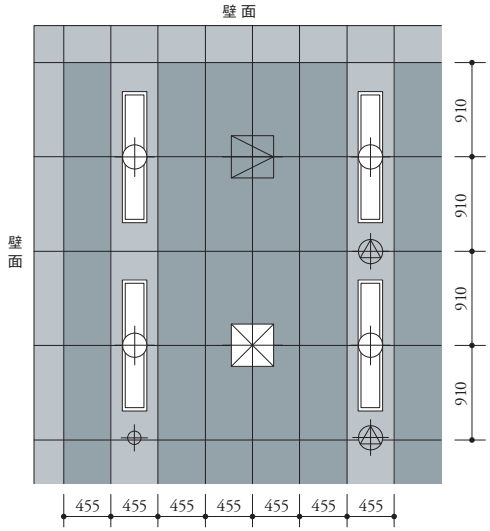
設計する上で参考にして頂くために、**スクエアトーン･Dプラス**と**スクエアート**やジプトーン･ライトを組合せて割付けた事例を紹介します。ご自由に組合わせて設計してください。

スクエアトーン･Dプラス **スクエアート**

ジプトーン･ライトまたは、ステラート･ライト

■天井伏図（A）

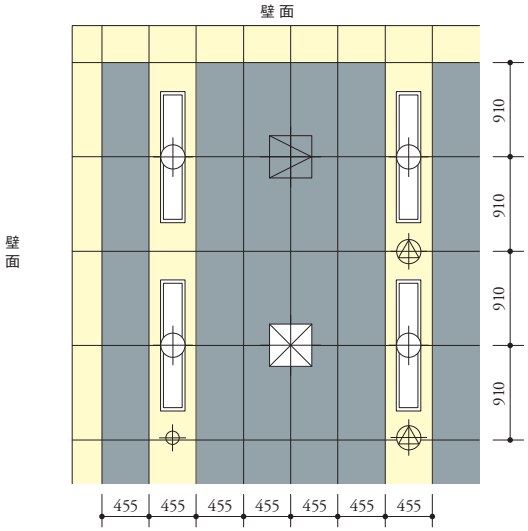
照明部分･ボーダーに*スクエアート*を配置 ［単位：mm］



照明などの設備ラインと壁取合部に**スクエアート**を使用することで、同じような模様で統一した仕上がりとなります。

■天井伏図（B）

照明部分･ボーダーに*ジプトーン･ライト*を配置 ［単位：mm］



照明などの設備ラインと壁取合部にジプトーン･ライトを用いると、ラインを強調したデザインに仕上がります。

※開口などで補強が必要な箇所で**スクエアトーン･Dプラス**の施工が困難な場合、**スクエアート**を使用してください。

【凡 例】

［寸法は外寸法：mm］



照 明
（238×1261）



空調 吹出口／アネモ型
（408×408）



点検口
（455×455）



スピーカー
（φ230）



非常照明
（φ99）